



大宮キャンパス  
〒535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16-1



枚方キャンパス  
〒573-0196 大阪府枚方市北山 1 丁目 79-1



梅田キャンパス  
〒530-8568 大阪市北区茶屋町 1 番 45 号

# 大阪工業大学

## 卒業時における 質保証の取組

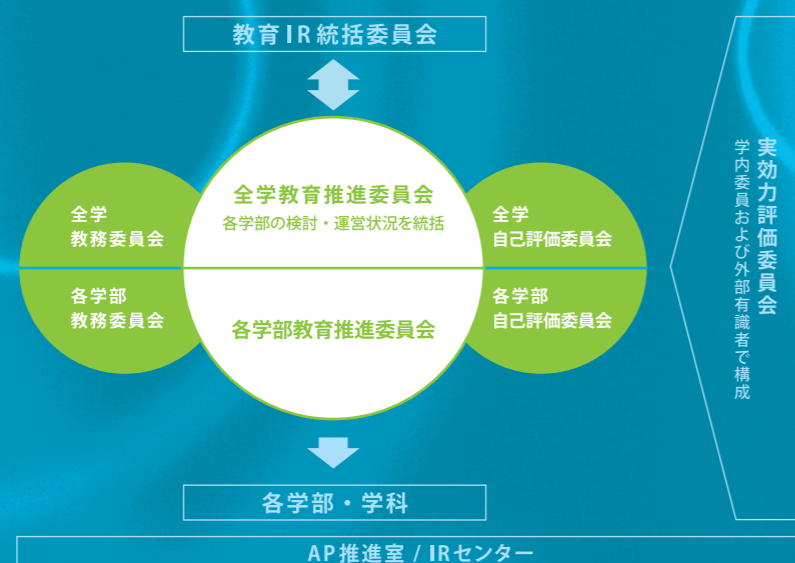


[ 学校法人 常翔学園 ]  
大阪工業大学 / 摂南大学 / 広島国際大学 /  
常翔学園中学校・高等学校 /  
常翔啓光学園中学校・高等学校

URL : [www.oit.ac.jp](http://www.oit.ac.jp)

2017年4月発行  
本冊子の掲載事項は2017年4月現在のものです。  
内容が変更になることがあります。

### 大学教育再生加速プログラムの取組体制



### 『大学教育再生加速プログラム(AP)テーマV — 卒業時における質保証の取組の強化 —』とは …

大学教育の質的転換の加速を促し、大学の人材養成機能の抜本的強化を図るため、我が国の高等教育の共通課題に取り組む大学を、文部科学省が支援する事業。平成28年度には「テーマV」として、卒業段階で学生が身につけた力を客観的に評価する仕組みや学修成果を社会に提示する効果的な手法等を開発し、学外の多様な人材との協働により教育の質保証に取り組む大学の公募が行われました。大阪工業大学は応募116校から関西の私立大学としては唯一採択されました。

# 大阪工業大学「卒業時の学生の質保証」に向けた取組

## 成果の可視化と厳正化で、社会に求められる学生の「質」向上をめざす

大阪工業大学では、「実践的な専門職業人の育成」を建学の精神に掲げ、社会に貢献できる工学系人材を生み出すため、従来から多角的な教育改革に取り組んできました。平成 28 年 3 月には学長方針として「適正な成績評価基準に基づく厳正な成績評価」を掲げ、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の着実な達成をめざすとともに、教育課程の改善、効果的な修学指導につながるシステムの開発、FD（大学教育の質向上を目的とした取組）推進などに取り組んでいます。今回採択された文部科学省「大学教育再生加速プログラム（AP）」では、従来の改革をさらに加速させるため、本学独自の「ディプロマ・サプリメント・教育 IR システム」を構築し、学生の学修成果可視化と修学指導の充実を図ります。また、企業や卒業生からのフィードバックを活用し、社会のニーズにかなう「工大質保証」をめざします。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の  
着実な達成をめざし、  
学修成果を高める質保証のプロセス

# 工大質保証

## 「工大質保証」を促進する取組を行う

### ○ ディプロマ・ポリシー

教育理念を踏まえ、どのような力を身に付けた者に学位を授与するかを定める基本的な方針。

【学部ディプロマ・ポリシー】 学部単位で共通して設定するディプロマ・ポリシー。

【学科ディプロマ・ポリシー】 各学科の教育・研究内容に応じて設定するディプロマ・ポリシー。

### ● ミニмум・リクワイアメント

各授業科目で定める最低限達成すべき基準。

### ● 在学生アンケート調査

学修進捗状況を自己点検するアンケート。

### ● 授業アンケート

学修状況を自己点検するアンケート。

### ● ディプロマ・サプリメント・教育 IR システム

学修達成度を可視化し、学修成果を高めるためのシステム。

### ● キャリア形成支援手帳

ディプロマ・サプリメント・教育 IR システムを活用し、キャリア形成を行うための教材。

### ● PROGテスト

社会が求める力（汎用的能力）を測定するテスト。

### ● 卒業生インタビュー調査

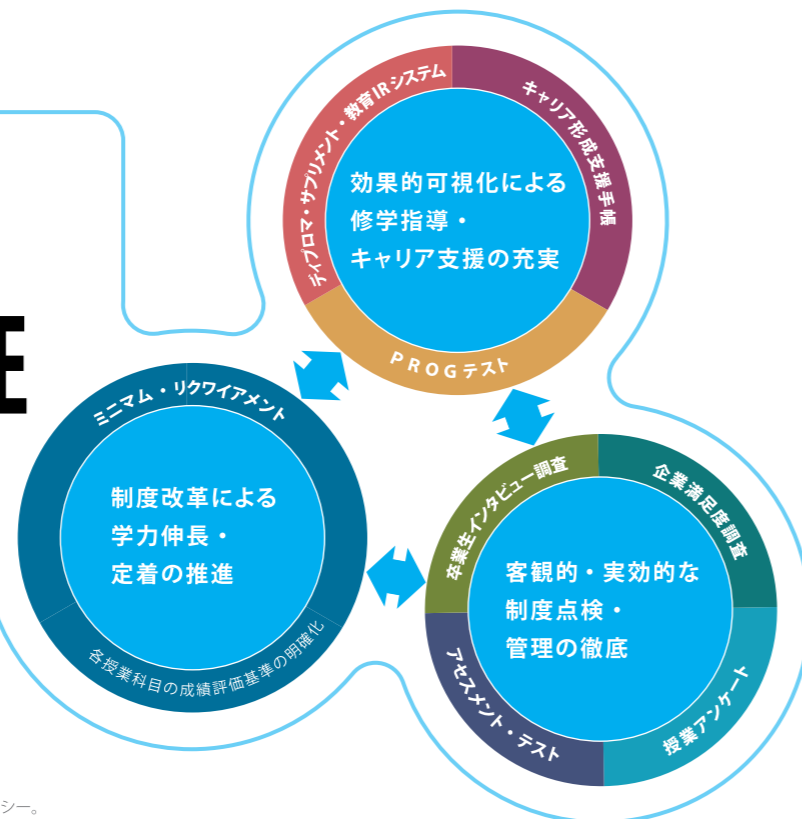
卒業生を対象に本学における学修と社会ニーズの適合性を検証するインタビュー。

### ● 企業満足度調査

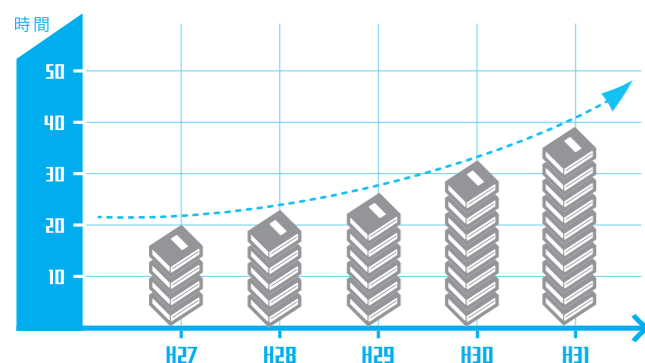
社会人として求められる資質・能力を調査。

### ● アセスメント・テスト

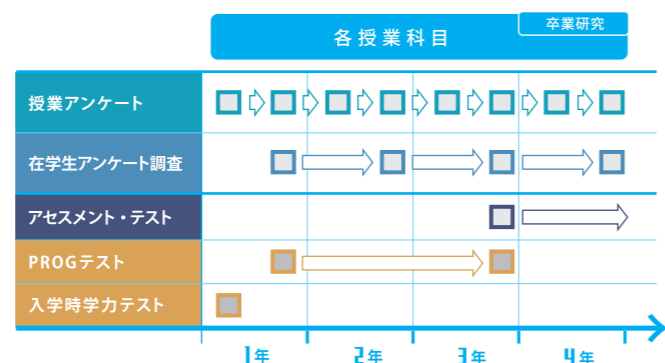
専門知識の定着度を測定し学修を促すためのテスト。



## 主な成果 ① 学力の定着に必要な授業外学修の促進



## ② 4年間を通じて行う学修成果を可視化するための体系的な教育プログラム



## 社会・企業が求める汎用的能力と専門知識・技術の可視化を行う

学部・学科でそれぞれディプロマ・ポリシー達成に向け、学修成果を可視化します。

## 学部ディプロマ・ポリシーの可視化システム

アンケート調査や汎用的能力を確認するテストにより、学部ディプロマ・ポリシーの達成度を確認します。

DP: ディプロマ・ポリシー



## 学科ディプロマ・ポリシーの可視化システム

各学部・学科でディプロマ・ポリシーは、8~10項目程度にまとめています。

カリキュラム・マトリクスにおいて、ディプロマ・ポリシーと科目のつながり（どの科目がどのディプロマ・ポリシー達成を主目的とした科目か）を明示しています。このつながりをもとに、学科ディプロマ・ポリシーの達成度を確認します。

### 分野別修得単位数 | 分野別累計GP

教育課程の分野別修得単位数・累計GPで学修状況を確認します。

### 専門力定着度確認テスト（アセスメント・テスト）

専門知識の定着を促すためのテストを実施します。

分野ごとにアセスメント・テストの設問を設定。

	設問 1	設問 2	設問 3
専門分野 1	○		
専門分野 2		○	
専門分野 3			○

### 授業アンケート

全授業科目で、到達目標として定める資質・能力がどの程度身についたかを学生自身が自己点検します。

### カリキュラム・マトリクス (◎: 特に重要度が高い科目 ○: 重要度が高い科目)

	授業科目	DP 1	DP 2	DP 3	DP 4
専門分野 1	A	◎		○	
	B	○	◎		
専門分野 2	C			◎	○
	D	◎			
専門分野 3	E		○	◎	
	F				◎

### 分野別学修状況

	授業科目	アセスメント・テスト	分野別単位数累計	分野別累計GP	授業アンケート
専門 1	A・B				
専門 2	C・D				
専門 3	E・F				

教育課程の分野別修得単位数、分野別累計GP、アセスメント・テストおよび授業アンケートで、学修状況を可視化します。

GP: グレードポイント（成績評価結果から学修到達状況を係数化）

### 学科ディプロマ・ポリシーごとに可視化

	アセスメント・テスト	DP別単位数累計	DP別累計GP	授業アンケート
学科ディプロマ・ポリシー A)				
学科ディプロマ・ポリシー B)				
学科ディプロマ・ポリシー C)				

ディプロマ・ポリシーごとの専門知識の定着度を測定し、教育改善・FD活性化・成績評価の厳正化の促進等により質保証につなげます。

## ディプロマ・サプリメント・教育 IR システムによる学修成果の可視化

